

## ジョブトレ報告

### <ジョブトレ（地域交流館清掃）概要>

作業内容：地域交流館での清掃の作業

曜日・時間・場所など

地域交流館→月～土（日曜日は無し、祝日は有り）

①新宿地域交流館（新宿区新宿 5-3-13）	②上落合地域交流館（新宿区上落合 2-28-8）
<b>作業時間</b> 15:30~17:30	<b>作業時間</b> 15:45~18:00
<b>集合場所</b> 14:30 に新宿サポステ	<b>集合場所</b> 15:00 に新宿サポステ
<b>人員</b> 1名ないし2名	<b>人員</b> 2名
<b>服装</b> 1名はエフォーム着用（風呂担当以外） 汚れてもいいもので、節度のある服	<b>服装</b> 1名はエフォーム着用（風呂担当以外） 汚れてもいいもので、節度のある服
<b>最寄駅</b> 東京メトロ丸の内線新宿御苑駅	<b>最寄駅</b> 東京メトロ東西線落合駅
<b>交通費</b> 原則⇒一律一日¥500 例外⇒①一人で作業→プラス¥250②ジョブトレに41回以上参加→プラス¥250	
例) 新宿地域交流館を一人で清掃し、50回参加している⇒(500+250+250=) ¥1000の交通費	

※清掃のジョブトレとしては他に銭湯、ハウスクリーニングがあります。

⇒毎日、サポステに集合してもらいミーティングをし、日報を書いてもらう。毎月、一回は全体でミーティングを行なう。

### ◎ジョブトレの目的

「外部施設での一定期間・継続的な清掃業務を通して、役立ち感、達成感を味わい働くことに対して自信をつける。また、強み（長所）の発見につなげる。仕事をする過程で必要となる課題を自ら設定し、工夫する経験や、人と協力して仕事に取り組む体験を積む。」といった目的を掲げ、みんなにも理解して参加してもらっています。ただ一人一人がサポステに来た経緯、経験（仕事をしたことがない人、仕事をしていた人）、現状は様々で、性格（個性）も違うので、それぞれが自分なりの目標を持ち、ジョブトレに参加しています。

### ◎実際のジョブトレ（清掃）風景

#### <廊下掃除>



#### <浴室掃除>



#### <和・洋室掃除>



#### <階段掃除>



#### <トイレ掃除>



## <ジョブトレ現況>

のべ参加人数	2010/4～現在→29名
ジョブトレ終了後の進路	就労→7名（アルバイト） 継続困難→7名 本人の都合→7名
平均継続日数	5ヶ月
平均継続回数	50～60回
現在の参加人数	9名（アルバイト2名）

◎今までは、アルバイトで参加している者が多くて週3回程度ではいるといった状況だったが、現在参加している者の多くが週3回以上を希望している。中には週5回参加したいというものもいた。参加者がジョブトレに参加するにあたって、よりよい環境づくりを目指してきたので多く参加したいという声は良い傾向だとは思うが、そこに滞留してしまわないように気をつけたい。出来れば一日も早くジョブトレを卒業していただきたいと思う。やはり就労につなげていくこと、または卒業した者の受け皿となる現場を造ることも視野に入れていけたらと考えています。

## <ジョブトレの効果について>

### ①ジョブトレ参加前

参加前は皆、不安と緊張でいっぱいであるという発言が目立ちます。ほとんどの参加者が就労経験に乏しく、以前アルバイトや正社員として仕事をしていた若者も数年のブランクがある者、5～10年ひきこもり状態にあった者など就労から久しく遠ざかっており、体力不足を心配する参加者がほとんどです。多くは重い身体と心を引きずってのスタートを切る若者たちです。

### ②ジョブトレを開始して

やはり体力不足を申告する若者たちが大多数です。中には「こんなに辛いものだったとは思わなかった」と自信を失い、涙をこぼす参加者もいました。一方久しぶりに身体を動かして「気持ち良かった」という参加者も少なくありません。「今の自分を変えたい」と思い参加している若者が多く、頑張ってジョブトレを継続し社会との関わり求める若者がほとんどです。

以下若者たちがジョブトレに参加しての感想をご紹介します。

◎以前は家の外に出るのが苦痛だったが今はそれほど苦痛に感じなくなった。

◎人と喋るのが以前より楽になったと思う

◎仕事をする意味が分かった

◎人に感謝される、必要とされることを実感できた

◎週に2～3回でも家の外にでる理由が出来てうれしい

◎仕事を終えた後の爽快感が素晴らしいと思った

◎ジョブトレを通して色々な人と知り合えたことが良かった

◎綺麗になったという達成感を仲間と共有できた

◎家の外に出る理由ができた

◎生活リズムを改善しなければいけないと思う

### ③ジョブトレ参加後の変化

一緒にジョブトレに参加して一番に感じることは表情が豊かになったことです。さらに積極的に社会に関わろうとする姿勢が見られるようになりました。うまく人の目も見れなかった若者がジョブトレの清掃の現場に行って高齢者の方々に自ら挨拶をできるようになった場面に遭遇した時には、まさに変化の瞬間を目の当たりにしました。また最初は筋肉痛で身体が痛い、清掃の手順が覚えられないと嘆いていた参加者が今では、主体性を持って「清掃の手順はもっとこうした方が良いのではないのでは？」と自分の意見を発言できるようになりました。ジョブトレに参加し始め、居場所ができ、そして仕事をする場所なんだという自覚が芽生え、仕事に対する責任感、自信が生まれ、自分の意見、欲求が出てくるといった、スローなステップアップができていないのでしょうか。

### <ジョブトレ（地域交流館清掃）を卒業したI君とSさんの事例>

#### I君のケース

I君は、大学卒業後4年間ほどひきこもり状態にありました。色々な支援団体に通い、しんじゅく若者サポートステーションにも来所し、ジョブトレ（交流館清掃）に参加するに至りました。

ジョブトレ初日「辛くてジョブトレを続けられないかもしれない」と涙を流していました。「仕事をするとは生きること」という思いがあり、生きるという覚悟ができていない自分には仕事をする資格がないといった考えもあったそうです。その後担当スタッフの「ここで辞めたら何も変わらないよ」という励ましもあり、なんとか継続しました。2～3ヶ月が経過した頃から、笑顔も見られるようになり、自分の意見を持ちはっきりと主張できるようにもなりました。そして就労への意欲を持ち始めた彼にワーカーズコープの清掃現場である公民館での清掃のアルバイトを紹介しました。そこでのアルバイトを1ヶ月程続けた頃、「ジョブトレを続ける意味がわからなくなりました。」という一言をI君が伝えてくれました。ジョブトレを通して彼の中で何か変化しアルバイトをするに至り、ジョブトレが必要なくなったということだと思います。次のステージにステップアップすることが出来たのではないのでしょうか。そして現在PCのジョブトレ等様々な事にチャレンジしながら、アルバイトを頑張っています。

#### Sさんのケース

今月は節電の影響もあり、エアコンの清掃を含めハウスクリーニングに毎日のように行きました。その中で利用者のSさんも私と毎日のように出かけました。多い日には1日3軒のお宅に伺うこともありかなり大変だったと思います。それでもお互いに足りない部分を補いながら頑張りました。今までは週3日以上は疲れるから働けないと言っていたSさんが普通に週5日働くことができるようになっていました。彼は交流館の清掃を週3回のペースで1年ほど参加していましたが、その経験が自信になり自分でも気づかない内に精神面、体力面ともにタフになっていたのだと思います。今は私たちの組織の地域交流館で非常勤の職員をやっています。とても真面目で交流館を利用される皆様にも好感を持たれているそうです。今後は利用者さんとしてではなく一緒に働く仲間として共に頑張っていきたいと思っています。